



今日から使える

特定健診・特定保健指導実践ガイド

編著：今井博久／医学書院

定価：本体 2,400 + 税 / TEL：03-3817-5657

■「メタボ健診」の測定数値と肥満・非肥満とをどう関連付けるのか、殊に非肥満で境界値超えといった受診者の指導は、依然悩ましい問題ではないだろうか。本書は、『標準的な健診・保健指導のプログラム【改訂版】』のフィードバック文例集を項目ごとに取り上げ、個別指導における具体的活用例を詳細に解説する。Ⅵ章には、組織の取り組みの参考となる5つの町・市の好事例を収載。「今日から使える」!

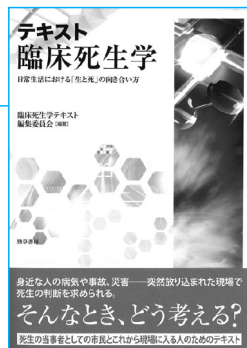
テキスト 臨床死生学

日常生活における「生と死」の向き合い方

編著：臨床死生学テキスト編集委員会／勁草書房

定価：本体 2,400 + 税 / TEL：03-3814-6861

■「(病める人や死に近く人の)床に臨む」を本義とする「臨床死生学」。人の死は、必ずしも文字通りに「床」のうえで訪れるとは限らない。本書は、死に赴く人、死に見舞われる人、死を選ぶ人、さまざまな人の死のあり方を視野に収めた、初めての「死」のテキストである。人の死に立ち会う医師・看護師などの道を進もうとする若い人たちに、「死」の文化的、法律的、医学的、歴史的、哲学的 etc……の多角的、学際的観点からの意義を伝える。



「教えること」を教える先生が書いた

教師のための「教える技術」

著：向後千春／明治図書

定価：本体 1,800 円 + 税 / TEL：03-5907-6700

■教えることを仕事としている人を対象に、「教える技術」「授業デザイン技術」「クラス運営力」の3つの必須の能力を解説。教えることのプロとして、教わる側との信頼関係をつくり、心の安定と自信、相手を待つ力を身につけ、バーンアウトしないスタンスを伝授する。「教える仕事のものさしは、子どもの結果だけ」のシンプルな原則のもとに、「成長マインドセット」を強くもった、成長し続ける教員を目指そう(引用はいずれも本文より)。

看護を教授すること

大学教員のためのガイドブック 原著第4版

著：D. M. Billings・J. A. Halstead / 監訳：奥宮暁子・小林美子・佐々木順子

医歯薬出版 / 定価：本体 8,000 円 + 税 / TEL：03-5395-7619

■「本書を手引書や資料として活用することを提案しますが、実施にあたっては、所属機関の価値と理念、教員個人のスタイルと哲学に照らして適用すべき……」(「原著序文」より)。まさにその実践から生まれたのが、この日本語版。多くの看護教員は、「教えること」の教育は受けていない。これまでの日本にはなかった、看護学を教授するというスタンスに立った本書は、看護を教えるうえでのカリキュラム開発、学習の進め方、評価に至るまでを論理的、実践的にガイドする。

